

「生命」を守ることを最優先とし、「緊急事態宣言」における

ジョブローテーション異動の一旦中止・見直しを求める緊急声明

組合員・JRグループで働く皆さん！

現在、多くの組合員・JRグループで働く皆さんが、自らが感染するリスクと感染源となるリスクに不安を抱えながら通常運行、通常業務を担っていることに心から敬意を表します。

JR東日本輸送サービス労働組合（JTSU-E）が4月8日に行った「申5号『新たなジョブローテーションの実施』の運用開始に向けた申し入れ」団体交渉において、会社幹部は、「コロナ感染拡大の防止・克服していくために全力を期することに変わりはない」と述べつつも、

- ・会社経営として必要なことはやらなければならない。
- ・ジョブローテーションは社員の成長を促すためにも必要であり、のべつまくなしにジョブローテーションの異動を行うのではない。
- ・必要な要員を確保した中で取り組んでいく。

と回答しました。この会社幹部の主張は、企業経営のみを重視し、ウイルス感染の不安を抱えつつ、日々の列車運行と業務を担う社員の「生命」と「健康」を軽んじているとしか到底思えません。

私たちの元に、このような状況に対して、家族の皆さんからの「何とかして欲しい」という生命と健康を心配する声が数多く寄せられています。

私たちは、安全・安心な輸送サービスを提供するために、このような組合員・JRグループで働く皆さんとその家族の皆さん悲痛な声に耳を傾け、不安を解消するために全力を尽くすことを明らかにします。

この危機的かつ非常事態を迎えている中で、通常通りにジョブローテーション異動を強行することは、政府が発出した「緊急事態宣言」の危機的状況と重大性、企業の社会的責任を理解していない証左であり、組合員とJRグループで働く皆さんの安全・安心な輸送サービスを提供しようとする気持ちと苦労を蔑ろにする何ものでもありません。

JR東日本会社経営陣は、直ちに「緊急事態宣言」におけるジョブローテーション異動を一旦中止・見直しを決断すべきです。

その上で、組合員とグループ会社で働く皆さんとその家族の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を具体的に実行し、直面する困難を総力で乗り越えていくことを強く求めるものです。

2020年4月10日
日本輸送サービス労働組合総連合会